



全力投球

石部中学校 校報

湖南市宝来坂四丁目3-1

TEL:77-3781 FAX:77-6802

<http://www.edu.konan.jp/ishibe-jh/>

教師・宮澤賢治の教えから思うこと

宮澤賢治は、岩手県立花巻農学校で4年数ヶ月の間、教師として勤務しました。賢治は詩人・童話作家として大変有名ですが、教師としてもすばらしい才能を発揮しています。

その授業の様子などを作家の畑山博氏は、「教師 宮澤賢治のしごと」という著書に詳しく書いています。この本の中で、賢治が「善と悪」について、次のような話を生徒にしていることが紹介されています。

善は脳の内部に無限に潜入する。

悪は表面意識に止まり、内部に潜入しない。

(悪は)表面意識部に止まり善の内部への潜入を妨害する。

善は無限に潜入する。

善の潜入するほど無意識は無限に発展する。

(そして)明るくなる。

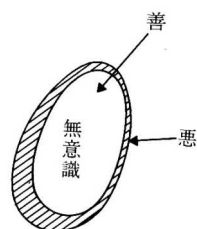
(そして)頭は軽くなる。

悪は表面意識に止まり、蓄積すればするほど頭は無意識を圧迫して苦しくなり、自由を欠く。

(そして)重くなる。

(そして)暗くなる。

ゆえに悪いことは考えるべきではない。



()内は、校長注釈・補足

この賢治の言葉は、中学生の皆さんには少し難しいかも知れませんが、最後の「ゆえに悪いことは考えるべきではない。」という一言で、賢治が何を言いたいのかが分かります。

少しだけ説明すると、次のようになります。(賢治が「脳」と言っているのを「心」ととらえて考えます)

よい考えは心の中の奥深くに入っていきます。しかし、悪い考えは心の深くには入らず、表面に止まって殻を作ってしまう。ですので、悪い考えをしていると、心の中によい考えが入れなくなります。

そうすると、心が暗くなり、苦しくなり、重くなってしまいます。

だから、悪いことは考えないようにしましょう。

私は、皆さんにこの賢治の教えをじっくりと味わってもらって、「ゆえに悪いことは考えるべきではない。」という結論の大切さをしっかりと分かってほしいと思っています。

また、賢治は「悪は脳の表面に止まり内部に侵入しない」と言っています。このことは、『悪い心や考えは自分しだいに取り除ける。』ということを賢治は言いたかったことではないかと思っています。

人の一生では、失敗や過ちを何一つせずすべてが順調にうまくいく、ということはなかなかありません。失敗をしたり、時には「悪い考え」が自分を支配したりするかも知れません。しかし、心の持ちようによって、表面に止まっている「悪」を追い払うことができるのです。

このことは私たちに、明日への希望や立ち直る勇気を与えてくれます。

ですので、「悪いことを考えず」、よいこと、例えば「誰かの役に立とう。」「誰かを喜ばせてあげよう。」「困っている人を助けよう。」「よい行いをしよう。」「人の嫌がることはしないでおう。」「などという考えや「感謝の気持ち」を常に持ち続けていれば、必ずその人自身が明るい気持ちになることができ、よりよい人生を送れるのではないのでしょうか。

7月5日(日)は学校公開日とPTA地区別懇談会

先日からご案内しておりますように、7月5日(日)は学校公開日と併せてPTA地区別懇談会を実施いたします。この日は、8:25から始まる「朝読書」の時間から14:30までの「帰りの会」までを学校公開としています。その後、14:30~16:00の時間が地区別懇談会となります。

普段はなかなか地区ごとや学年を外した形での懇談ができにくいことと思います。

ぜひこの機会に同じ地域や他学年の保護者の方といろいろと懇談していただき、子育てに役立てていただけたらと思っています。昨年度も、「初めての子どもで。。。を心配していたが、経験された親御さんから話を聞き、気が楽になった。」という感想を聞かせていただきました。

色々とお忙しいとは存じますが、ぜひ学校までお越しくださるようお願いいたします。

なお、スリッパ等の上履きをご持参いただき、校舎への出入りは生徒昇降口からお願いいたします。

また、翌日6日(月)は振替休日とさせていただきます。

携帯電話の学校への持ち込みはほとんどなくなりました。

昨年度末から学校への携帯電話の持ち込みについて、全国的にも話題になり、本校でも原則として学校への持ち込みを禁止するようになってきました。(特別に必要がある場合は、担任に朝に預けて下校時に受け取るという措置をしています。)

保護者の皆様のご理解・ご協力もいただき、現在は学校へ携帯電話を持ってくる生徒はほとんど見られなくなりました。携帯電話にとらわれない分、生徒は授業に集中し、また、友達との直のふれあいを大切にする姿が見られます。このような状況は、学校としても大変よいことだと考えています。

今後も、この指導を継続していきたいと考えていますので、引き続きご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、家庭で携帯電話をお持ちの場合は、保護者の指導のもとに使用させていただき、決して「ネットいじめ」や「携帯トラブル」がないように、また、「メール返信恐怖症」等に陥らないようにご配慮ください。

本校卒業生の同窓会に出席して

突然1ヶ月ほど前に、15年前に本校を卒業したU君から、「今度、6月21日に同窓会をするので、ぜひ出席してほしい。」との電話が入りました。当日は幸い体が空いていたので、「喜んで出席します。」と答えました。

実に15年ぶりの再会となります。早速卒業アルバムを取り出してきて、あの頃へタイムスリップしました。15年も前のことでしたが、色々なことが思い出されます。そして、あの子はどうしているだろう、みんな元気にやっているだろうか。などと思いを馳せていました。

当日会場に着くと、懐かしい顔がたくさん見えます。中学生の頃とほとんど変わってなく、すぐに誰だか分かる人もいれば、15年の間にすっかり顔・形や雰囲気が変わっている人などいろいろでしたが、昔話に花を咲かせながら、「今何してる?」と近況報告をし合い、旧交を深めました。

実に楽しい一時を卒業生からプレゼントしてもらった一日でした。そして感じたことは、「みんな、しっかりした大人になったな。そして、それぞれに仕事に就き立派に社会人としてやっているな。」ということでした。早くに結婚し子ども連れで来ていて、たくましいお母さんぶりを発揮している人もいました。

さて、中学校は義務教育の最終段階です。小学校から中学校へはほぼ同じ道を進んできましたが、中学卒業後はバラバラになり、それぞれが自分で決めた道へと進んでいきます。私(校長)の経験では、中学校卒業後、一度も出会えていない友も中にはいます。しかし、中学時代の友は、(たぶん小さい頃の経験が共通していて心に浸透しているということもあって)格別なものがあり、同じ地域で同じ年代を過ごした友人は将来にわたってかけがえのない存在となります。

中学生の皆さんには、卒業した後も、互いを尊重し合い生涯友達でいられるよう、今身近にいる友達を大

切にしてほしいとつくづく感じた同窓会でした。